

令和4年度地域活動支援事業の 現地確認及びヒアリングを実施 しました

今年度は、11団体から11事業、事業費合計674万7千円、補助希望額合計644万3千円の提案がありました。

事前に提案書を確認した委員から質問をもらい、各団体からは時間のない中、質問に対する回答をいただき、ヒアリング及び審査の参考とさせていただきます。

5月26日④に、提案があった事業の審査の参考とするため、5か所の現地確認を実施しました。その後の第3回地域協議会において、事業の提案があった全11団体から質問に対する回答の補足説明をしていただき、事業内容についてヒアリングを行いました。

6月2日⑤の第4回地域協議会にて、採択審査を行いました。審査の結果、10事業を採択し、採択額の合計は528万4千円となりました。結果は裏面のとおりです。

地域振興部会がいたくら夢創會 と意見交換会を実施しました

地域協議会が地域の課題を把握し、自主的審議の参考とするため、5月9日⑥に地域で活動する若者地域住民組織の「いたくら夢創會」と意見交換会を実施しました。

この日は、「いたくら夢創會の活動やまちづくりについて」をテーマとし、参加者からは板倉区のまちづくり活動への問題提起や提案が行われました。意見交換では、まちづくりの旗振り役として、板倉まちづくり振興会への期待などの意見が出ました。

今後も地域で活動する団体から意見を伺い、自主的審議の参考にしていきます。



《地域協議会の動き》

◇令和4年度

- ▼4月22日 第1回地域協議会
- ▼5月9日 地域振興部会
- ▼5月11日 第2回地域協議会
- ▼5月26日 第3回地域協議会
- ▼6月2日 第4回地域協議会
- ▼6月17日 第5回地域協議会
- ▼7月 6地区連協との意見交換会を予定

つづいて

地域活動支援事業については、今年13年目で最後となり、追加募集も廃止となったため、委員一同、慎重審査に心がけました。今までの地域活動支援事業は当区にとって一定の意義があったと思います。

市では、現在「地域独自の予算」の制度設計について検討しています。今後も地域の方々との向き合った活動がある地域づくりのために、委員一同、新たな視点で取り組むこととなります。

今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

(編集委員長 庄山 健)

令和4年度地域活動支援事業の審査結果について

(単位:千円)

事業名	団体名	採択額	事業内容
板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業	NPO法人板倉まちづくり振興会	805	令和3年度に誕生した板倉区イメージキャラクター「いたくらけいと」を周知PR展開させるための活動を行う。
地域に残る偉人の紙芝居作成事業	寺野玉手箱グループ	168	板倉区の偉人増村朴斎翁の伝記を紙芝居として作成し、地域の歴史文化の伝承を図る。
光ヶ原高原再活用事業	光ヶ原高原ファン倶楽部	1,000	光ヶ原高原キャンプ場の老朽化した展望台を修繕する等、光ヶ原高原の周知及び誘客促進を図る。
健康ウォークで体力づくり及び山寺三千坊の観光開発にかかる事業	丈ヶ山ファンクラブ	550	丈ヶ山に多くの方から安全に登山していただくため、登山道の整備等を行う。
棚田ホテル火街道事業	一般財団法人 ゑしんの里観光公社	518	中山間地域の棚田等にソーラーライトを設置し、夜間の景観の創出を行う。
芝桜とこいのぼり・春の競演事業	みどりやすらぎグループ	767	ゑしんの里やすらぎ荘周辺にこいのぼりを掲げるための設備を増設し、観光スポットとしての確立を目指す。
ヨモギ文庫プロジェクト おやこでよみたい郷土絵本 ～中村十作ものがたり～事業	ヨモギ文庫復活プロジェクト	550	郷土の偉人である中村十作の功績について、絵本を作成し学校や公民館、図書館等に寄贈するとともに発行記念セレモニーを開催する。
「不思議板倉郷 - 山の不思議」事業	いたくら文化研究会	451	板倉区の丈ヶ山、人柱供養塔、山寺三千坊などを中心に、「不思議板倉郷-山の不思議」を制作し区内外の学校施設他で配布する。
栗沢桜の里づくり事業	栗沢桜の里をつくる会	82	桜や卯の花などが咲き誇る栗沢桜の里に、敷砂利により駐車場及び遊歩道を整備する。
焼山城址文化遺産を次世代へつなぐ事業	焼山城狼煙を上げる会	393	焼山城址一帯を整備し、焼山城関連史跡パンフレットを作成し、次世代へ歴史文化を伝承する。
合 計		5,284	

※地域協議会委員の採点による得点が上位の事業から今年度の板倉区配分額630万円の範囲で採択すべき事業を選定し、その際に事業費の内訳を精査して適正な採択額を決定しました。(上記の表は得点順に並んでいます。)

配分額に残額がありますが、今年度は追加募集を行いません。

○令和4年度の地域協議会だより編集委員をお知らせします

編集委員長：庄山 健

編集委員：秋山 秀夫、吉田 重夫、長藤 豊